

大会名 Competition	第22回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-111	Year Month Day Time 2009 年 5 月 5 日 9 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B										
新潟商	<table border="1"> <tr><td>20 1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>18 2nd</td><td>17</td></tr> <tr><td>18 3rd</td><td>23</td></tr> <tr><td>20 4th</td><td>18</td></tr> <tr><td colspan="2">OT</td></tr> </table>	20 1st	17	18 2nd	17	18 3rd	23	20 4th	18	OT		明 成
20 1st	17											
18 2nd	17											
18 3rd	23											
20 4th	18											
OT												
76 ○		75 ●										

主審:Referee 平山 尚 神奈川県
副審:Umpire 小野寺 浩 秋田県
テーブル・オフィシャル:Table officials 能代商業

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	小野寺 弘晃	CAP	2	0	1	0	2	4	×	村田 翔	CAP	8	1	2	1	4
5	×	新保 寛人		9	2	1	1	4	5		玉田 駿		-	-	-	-	0
6	×	田村 亮		15	0	7	1	1	6	/	畠山 俊樹		6	2	0	0	4
7		青山 充		-	-	-	-	0	7		圓山 慧		-	-	-	-	0
8	/	佐藤 寛人		0	0	0	0	0	8		須川 陽介		-	-	-	-	0
9	×	中村 博		12	2	1	4	2	9	/	木村 聡		11	0	5	1	0
10	/	荻野 晃平		2	0	1	0	2	10	×	高田 歳也		14	0	6	2	3
11	/	亀山 亮		2	0	1	0	0	11		門田 瑠唯		-	-	-	-	0
12		小林 力		-	-	-	-	0	12		松澤 大晃		-	-	-	-	0
13	×	岩淵 俊紀		22	1	6	7	2	13	×	杉本 健将		0	0	0	0	4
14		鳥越 皓幾		-	-	-	-	0	14	×	菊地 大		27	0	13	1	3
15		村越 俊紀		-	-	-	-	0	15	×	宮澤 耀佑		7	0	3	1	0
16	/	小林 裕太郎		8	0	3	2	1	16	/	藤井 祐希		2	0	1	0	1
17	/	鶴巻 拓哉		4	0	2	0	0	17	/	蔦木 大智		0	0	0	0	0
18		田宮 開		-	-	-	-	0	18	/	安藤 誓哉		0	0	0	0	0
コーチ		中屋 廣昭							コーチ		佐藤 久夫						
Aコーチ		丹波 浩之							Aコーチ		細野 真						
合 計				76	5	23	15	14	合 計				75	3	30	6	19

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率* イントシュート 2P:2P率* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり、リズムの悪い明成に対して、新潟商のディフェンスが機能し、#9中村#6田村のジャンプシュートなどで好スタートを切る。一方、明成は#14菊池のドライブ、#15宮澤のゴール下のシュートなどで、徐々にリズムを取り戻す。終了間際、新潟商#13岩淵のジャンプシュート、#4小野寺の速攻が続けて決まり、20-17と新潟商リードで第1Q終了。

第2Q、明成は#9木村#14菊池のインサイドで加点すると、新潟商も#6田村のジャンプシュートや#9木村の3Pシュートなどで加点し、一進一退の攻防が続く。新潟商#13岩淵#6田村のドライブが決まり、33-25の新潟商リードとなった残り4:47のところ、明成はタイムアウトを取り、立て直しを図る。タイムアウト後、明成は#9木村#14菊池のインサイドで追い上げを見せ、38-34の新潟商リードで前半を折り返す。

第3Q、開始早々から明成は#14菊池のドライブ、#10高田の3Pで一気に逆転。#10高田の速攻が決まった残り8:07明成が5点リードのところ、新潟商はたまたまタイムアウトをとる。タイムアウト後新潟商は#13岩淵が果敢に切れ込み追いつける。残り5分を過ぎたあたりから、明成はファールが重なり、流れが新潟商業に傾き、#9中村#17蔦巻の3Pなどで追い上げ、56-57の明成リードで、最終クォーターをむかえる。

第4Q、明成は、#10高田のドライブなどで加点すると新潟商も#16小林のドライブなどで負けじと対抗する。新潟商は#5新保の3Pが決まり71-68と逆転に成功する。残り1:47新潟商#17蔦巻がジャンプシュートを決め75-69の新潟商リードとなったところで、明成はタイムアウトを取り、逆転をこころみる。タイムアウト後明成は#6畠山の3Pが決まり、すかさずマンツーマンプレスでボールをうばい#10高田がゴール下のシュートを決め、残り0:53のところ、75-75の同点に追いつき、新潟商はタイムアウトを取り落ちつかせる。残り0:06のところ、新潟商は、#16小林がドライブで明成のファールを誘い、フリースローを1本決め76-75と1点リードする。明成も#10高田が最後切れ込んで行くも、オフェンスファールとなり、そこで試合終了。

76-75と新潟商が気力で勝利し、全勝の明成に土をつけた。